

# 六三印刷・水沢工場で見学会

日本WPA



広色域インキによる両面10色刷りを実演

六三印刷の水沢工場は1990年から稼働している。ビジネスフォーム印刷の専門工場であったが、近年、東京・江東区の本社工場にあった枚葉印刷機もすべて水沢に移転させ、現在は商業印刷を含めた全生産を水沢工場で行っている。仕事のほとんどは東京圏の顧客からの受注である。原稿データを伝送し、工場のCTPセッターで、カセット管えによりフォーム輪転用と枚葉用用の版を出力している。毎週プロファイル調整を行うなど、カラーマネージメントには大変神経を遣っている。

約1年前に、高付加価値による差別化を目的に小森コーポレーションの菊池孝典と反転両面10色機、リソロンL10026P(5/5)の色を導入、水なし印刷専用機として運用している。さらに、広色域印刷、FMスクリーニング、両面OPPニスなどの組み合わせで、より顧客にアピールできる高品質印刷へとレベルアップを図っている。

8月25日の見学会では、島村社長はじめ役員、工場責任者が参加者を出迎え、セミナーを開いた後、工場内を見学。さらに地元ホテルで懇親会を開いた。

開会にあたって日本WPAの依田会長が、「市場で水なし印刷の認知度が上がり、次なるステップに入った。本日は品質面、技術面で水なし印刷を学んでほしい」とあいさつ。六三印刷の島村社長は、「見学会に値する工場がどうか心配したが、フォームと枚葉の印刷環境が並存している点や、平均的になり若い社員たちが働く姿を見ていただき

## 10色機+水なし印刷

### 広色域、両面ニス等で差別化



島村社長

たい」と述べた。

セミナーでは、T&K TOKAおよび10色機導入にあたり工場設計を担当

六三印刷の水沢工場は1990年から稼働している。ビジネスフォーム印刷の専門工場であったが、近年、東京・江東区の本社工場にあった枚葉印刷機もすべて水沢に移転させ、現在は商業印刷を含めた全生産を水沢工場で行っている。仕事のほとんどは東京圏の顧客からの受注である。原稿データを伝送し、工場のCTPセッターで、カセット管えによりフォーム輪転用と枚葉用用の版を出力している。毎週プロファイル調整を行うなど、カラーマネージメントには大変神経を遣っている。

約1年前に、高付加価値による差別化を目的に小森コーポレーションの菊池孝典と反転両面10色機、リソロンL10026P(5/5)の色を導入、水なし印刷専用機として運用している。さらに、広色域印刷、FMスクリーニング、両面OPPニスなどの組み合わせで、より顧客にアピールできる高品質印刷へとレベルアップを図っている。

8月25日の見学会では、島村社長はじめ役員、工場責任者が参加者を出迎え、セミナーを開いた後、工場内を見学。さらに地元ホテルで懇親会を開いた。

開会にあたって日本WPAの依田会長が、「市場で水なし印刷の認知度が上がり、次なるステップに入った。本日は品質面、技術面で水なし印刷を学んでほしい」とあいさつ。六三印刷の島村社長は、「見学会に値する工場がどうか心配したが、フォームと枚葉の印刷環境が並存している点や、平均的になり若い社員たちが働く姿を見ていただき

## 温湿度環境を統合管理

### 業者と協力し改善図る

表現手段のデジタル化が進む中でRGBデータの入稿が増え、印刷インキの色再現領域を広げたいという要望が強まっている。T&K TOKAでは、これを多色印刷ではなく4色プロセス印刷で実現すべく取り組んでいる。マゼンタ顔料の変更、さらにはFMスクリーニング印刷機、水なし印刷機、高光沢性の付与について関連業者とともに研究し、製品改良を進めている。

六三印刷の実例では、標準ベタ濃度(KOMOR I PDC)使用、恒温装置(コモテック)製前後温度調整タイプ、通水温度28℃、機上温度29.30℃(版面温度)、インキはニューラルホム広色域各色L63-SOYA印刷用紙はオーロラコート紙(76

おひ、欠勤が大き減つていくという。水なし印刷の条件を整えるべく採用したダクト式温度調整、噴霧式湿度調整は、同時にフォーム印刷の加工工程における

50風部長は、リソロンL10026Pの高機能を活用した今回のワンランクアップ印刷への挑戦について、そのポイントとして次の点を挙げた。

- ・高性能恒温装置によるFMスクリーニング水なし印刷機
- ・10色両面機(5色反転機)による4色プロセス広色域印刷+水なしOPPニス印刷
- ・特殊デリバリー装置による両面印刷

工場内にくまなく設備されたダクト

50風部長は、「広色域印刷を行うにはFMスクリーニングが不可欠だが、広色域が標準になる可能性があると見解を示した。



4色プロセス広色域印刷の効果を確かめる

見当精度の向上という効果ももたらした。

ぶりの、女性の断裁機オペレータの姿も印象的である。7月から8月にかけて、水沢工場に関連メーカーの技術者や数十名が数回にわたって集合し、高付加価値印刷のテストを行っている。印刷物の測定プロファイルは4色広色域インキ用の分解データとしてライブラリバックしながら出力を比較。最終的には、今回の見学会の実演では、両面FMスクリーニング20μm(7%網点)、広色域インキ+油性ニス印刷条件として採用した。

六三印刷ではテストの結果、自信を持ち、ワンランク上の印刷物の実用化にめどを付けた。今後、技術面での差別化を売りに、営業体制の強化を図っていく。とりわけ、広色域カラーを送風を行う。

加温については噴霧式とスプレー装置を開発し、設備業者と協力して霧の微細化と温調のランニングコスト低減を図った。

パウダースプレーについては、専用メーカーと新たにスプレー装置を開発し、噴霧量の低減を行った。同時に、六三印刷では設備のエア・循環系で粉塵の除去を図った。物流効率の点からも、各職場間の間仕切りは作っていない。

このように、各社が課題を分担する形で解決を図り、結果として初期の目的を達成することができた。次のステップとしては、印刷室のNVC化がある。フォーム印刷ではUVインキを使用しており、これをアンリアル化する中を目標としている。

島村社長は、ファンルコル印刷は技術的に難しく、ハードルが高い。インキ特性の変更が鍵であり、インキメーカーとの協力が不可欠だ。当社としてもできる限り支援していきたい」と述べた。

**社名変更、新出発。**

印刷美装・複合材貼合加工

販促用下敷・カード・POP・デスクマット  
マウスパッド・各種材料貼合

2006年1月1日付で社名が変わりました。今後とも変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

株式会社 **クリスタルテクノ**  
(旧 白銀社)

〒578-0942 東大阪市若江本町3-1-8  
TEL.06-6722-5104 FAX.06-6724-0315